



JET プログラム参加者のキャリア形成を支援！ ～キャリアビジョン形成セミナーを実施～

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部

クレアでは、JET プログラム参加者に対し、キャリア支援の充実を図るため、キャリアビジョンの形成などに関する研修や就職に関する情報提供等を行う「令和元年度 JET プログラムキャリアビジョン形成セミナー」を実施しました。本記事ではその概要をご紹介します。

キャリアビジョン形成セミナーとは？

「キャリアビジョン形成セミナー」とは、JET プログラム終了後の就職について検討している JET プログラム参加者に対し、就職活動等に関する情報を提供することにより、JET プログラム終了後の就職活動に係る JET プログラム参加者の不安を早期に解消することを目的としたセミナーです。

また、日本政府が推し進めている経済戦略において、高度外国人材の受入れを拡大するため、JET プログラム終了者等活躍促進が謳われており、クレアとしては、JET プログラム参加者の日本国内の就職活動を支援していくことを、使命の1つと考えています。

昨年度開催した際には、主に非英語圏出身 JET プログラム参加者を対象とし、105 人が参加しました。今年度は全 JET プログラム参加者を対象とし、143 人が参加するなど、JET プログラム参加者にとっても関心の高いイベントの1つになっています。

セミナー内容

今年度のセミナーは右表のとおりです。基調講演では、就職活動の専門家から外国人の労働市場の現状、日本での就職活動の基礎知識、就職活動での JET プログラムの経験の活かし方、今後の具体的な就職活動の方法等を話していただきました。また、パネルディスカッションでは、日本で就職している JET 経験者から就職活動について実体験を話していただきました。

次に、それぞれのプログラムの内容を紹介します。

「令和元年度 JET プログラムキャリアビジョン形成セミナー」 プログラム

期日 2019年11月1日

会場 パシフィコ横浜 アネックスホール

時間	内容
13:30-14:00	受付
14:00-14:10	開会式
14:10-15:10	基調講演 講師 株式会社パソナ HR コンサルタント(グローバル分野) 田中紀久子氏
15:15-16:45	パネルディスカッション パネリスト エロル・パッカード氏 (元新潟県 CIR) ミシェル・リオング氏 (元京都府亀岡市 CIR) グエン・ティー・ゴク・ニョン氏 (元島根県浜田市 CIR) アミナ・ダンテ氏 (元山梨県 CIR)
16:45-17:00	質疑応答・アンケート記入

基調講演

1 外国人が活躍できる企業とは？

外国人の就職活動では、「なぜ外国人を採用したいのか？」という企業の目線を理解することが重要です。海外に新たな販路や売上拡大を求める企業では、新規顧客の開拓や新たな視点から新ビジネスを創ることができる人材を必要としています。現在、今の 22 歳の日本人の人口は、45 歳の 60%しかいないため、今後は、労働力不足だけでなく、マネジメント、顧客対応にも課題が広がることが想定され、企業が外国人を採用する理由の1つとなっています。

日本企業では、外国人の活躍の場は確実に広がっており、外国人を雇用している企業は全体の45%と、約半分となっています。実際、企業が外国人を採用することで「販路・売上拡大」や「日本人社員の育成（交渉力向上、語学力向上、外国人への慣れ）」等のメリットを享受することができます。

ただし、外国人が活躍できる企業は、新しい発想を持った外国人材を上手く組織に取り込み、成果につなげている企業であることに注意が必要です。

2 就職活動におけるJET経験の活かし方

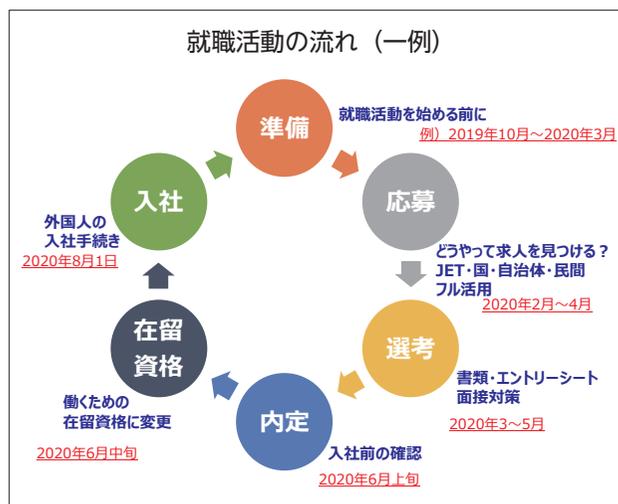
JET経験者の魅力は、「圧倒的な言語能力」、「日本組織への耐性・愛着」、「新しい場所でも活躍できること」を挙げることができます。このことは、JET経験者の就職における大きな強みです。就職活動の際には、言語資格のレベル、JETプログラムでの経験を基にさらに実現したい内容、地方での生活の楽しみ方、友人の作り方を積極的にアピールするべきです。

ただ、その反面、今まで所属していた「行政機関」とこれから所属する「企業」では組織の目的が異なるため、ビジネスへの理解や適正があるか、主体性や責任感があるかなどの懸念や不安を企業から抱かれることがあるため、就職活動の際にしっかりと話せるように準備しておくことが肝要です。

3 就職活動の方法

就職活動の流れについては、下図のとおりです。

2020年7月に任期を満了するJETプログラム参加者を例として挙げていることにご留意ください。



就職活動の準備においては、日本企業への理解や慣れが必要です。また、外国人が活躍している企業は、採用

ルートも多様です。そこで、多様な就職ルートを複数用意し、早い段階から色々な日本企業を調べることや社員の方と連絡をとることが重要です。

応募に際しては、企業への直接応募の他に中小・中堅企業の求人情報が多い応募チャンネルを使うことがポイントです。

書類選考では、日本語スキル以外のアピールを自分自身の言葉で記載し、面接選考では、日本で働きたい理由を自身の体験に基づいて話すことが重要です。



基調講演の様子

パネルディスカッション

パネリスト（日本で就職しているJET経験者4人）およびファシリテーター1人（基調講演講師）の5人で、現在の仕事内容、日本で就職をした理由、就職活動の詳細、JETプログラム参加者へのアドバイス等についてパネルディスカッションを行いました。

国籍や業種が異なる4人のパネリストに就職活動の経験について、ユーモアを交えつつ詳細に語っていただき、参加者にとって有益な情報を提供することができました。



パネルディスカッションの様子